

2026年1月11日 主の洗礼 イザヤ42:1-9／使徒10:34-43／マタイ3:13-17 北川逸英師

「これは私の愛する子」

冬が来ると私は、真夜中の真っ暗な、信濃川河川敷を思い出します。東京も寒くなり出した夜、携帯電話に緊急の連絡が入りました。宣教研修で大変お世話になった、長岡教会の方から

「家族が急病で倒れました。意識が戻りません。祈ってください」という悲痛な叫びでした。

すぐに聖書をバッグに入れて、バイクで関越道をひた走りました。谷川岳トンネルを越えると、道路脇は雪で白くなっていました。幸い悪路を走るタイヤを履いていたため、3時間ほどで、無事に病院に辿り着きました。

患者は手術を終えて、集中治療室に入って、脳をダメージから守る特別な処置を受けていました。ご家族はみな集まって、ガラス越しに見守っていました。電話を下さった方は、

「もう大丈夫だ。先生が来て下さった。この子のために、どうか祈ってください」

と言われました。私は聖書を出して詩編を読み、一生懸命に祈りました。

倒れた人は高校生です。学校で体育の授業中に、長距離を走っている時に発作が起きました。電話をくれた方は、高校生の祖父に当たります。小さい頃からずっと一緒に暮らして、愛情を込めて大切に育てて来られました。二人はいつも一緒でした。

「こんなにいい人たちを神さまが、そんな簡単に離ればなれにするはずがない。どうか神さまお願ひします」

そうやって祈っていたら、あっという間に時間が経って、日付が変わっていました。そこで私は失礼する事にしました。病院は河川敷にあり、外は真っ暗でした。門を出て少し行くと、いきなりパトカーに呼び止められました。暗がりにライトを消して隠れていました。

「一時停止ですよ。止まってください」

そう言って警察官は、免許を見てから、違反切符を切りました。真夜中の真っ暗な河川敷では、停止線もろくに見えません。はじめて来た道で、私はまるで追いはぎに会ったような、悲しい気分でした。

けれど警察官が横柄な態度で無礼に振る舞うほど、私は高校生の無事をひたすら願って、祈り続けている家族の人たちの、一人一人の顔を、思い出しました。こんな偉そうにしている警察官もたちにも、家族がいて、心配している誰かがいるのです。みんな誰かの子どもなのです。

帰りの高速道路では、ずっと病人の回復を祈りながらも「どうして人は力を持つと、弱い人をいじめなくなるのだろうか」という子どもの頃から持っている大きな疑問が、またも浮かびあがりました。

けれど神さまの大きな愛と出会って、私はやっと戦いの中から逃れる道を与えて頂きました。

今日、私たちは「主の洗礼」を覚えて礼拝をささげます。ヨルダン川でイエスさまが洗礼を受けられたとき、天から声がしました。

「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」(マタイ3:17)

祖父母が孫を思うとき、胸が締めつけられるほどの愛が湧き上がります。「どうか守ってください」「この子の明日を奪わないでください」と祈る心です。

神さまはその愛をはるかに超えて、私たち一人ひとりに向かっても「愛する子」と呼びかけてくださいます。この呼びかけが、争いを止め、平和へ向かわせる力になります。

イザヤ書 42 章は、神のしもべの姿をこう語ります。「傷ついた葦を折ることなく、暗くなつてゆく灯心を消すことなく。」(42:3)

神さまは、弱りきった人、言葉にならない不安を抱える人を、荒々しく扱われません。あの夜、集中治療室で祈り続けた祖父母と家族の姿は、まさにその御手の中にありました。

使徒言行録 10 章でペトロは言います。神は人をえこひいいきせず、どの民の人であっても受け入れてくださる、と。

この言葉は、世界平和の土台です。国や立場が違っても、相手にも家族があり、涙があり、誰かにとつての「愛する子」です。神が愛しておられる者どうしが、命を奪い合うことは、どれほど悲しいことでしょ。力を頼み、思い上がった愚か者は、必ず裁きを受けます。

人は怖いと、攻撃的になります。失うのが怖い。負けるのが怖い。だから先に相手を押さえつけたくない。しかし攻撃は被害者を産み、恨みを生じます。恐れはますます大きくなります。

けれど神さまは、洗礼の場でまず「あなたは愛されている」と宣言されます。私たちが頑張ったから、神さまから愛されるのではなく、先に愛が与えられるのです。

私たち老人は、ただ小さい人たちが「そこにいてくれる」だけで嬉しいのです。そのような、無条件の愛が、私たちの心を柔らかくします。神の愛はさらに深く、私たちを恐れから解放し、憎しみの連鎖を断ち切る力を与えます。

平和は遠い国の話だけではありません。家庭で、地域で、教会で、私たちの言葉や態度の中にも、争いの火種は生まれます。

だから私たちは祈ります。「主よ、私を平和をつくる者にしてください」と。神に愛された者として、相手を敵に固定せず、弱い人を折らず、和らげる言葉を選ぶ者としてください。

【祈り】

神さま。あなたは御子イエスに「愛する子」と呼びかけ、私たちにも洗礼によって愛を注いでくださいま。どうか憎しみと暴力の連鎖を止めてください。戦いの中にいる人々を守り、悲しむ人を慰めてください。

私たちの心から、相手を敵にする思いを取り去り、弱い人を折らない優しさを与えてください。神に愛された者どうしが、戦う愚かさから離れ、あなたの平和を求めて歩めますように。

主イエス・キリストの名によって祈ります。アーメン。